



伝統作物の「海老芋」を収穫する岡本氏

経営概要

◆代表者、所在地

岡本将司、兵庫県姫路市

◆設立年

令和4年12月

◆経営規模

施設野菜155.5a、露地野菜163a

◆従業員数

正社員3人、パート・アルバイト1人

◆事業内容

周年出荷できる葉物野菜を経営の柱とし、県認証食品制度等を活用したブランド化を進めるとともに、伝統作物の「海老芋」や新しい品目・品種にも挑戦し、こだわりの野菜として飲食店等に提案するなど、販売チャネルの拡大にも意欲的に取り組む。

1 現状及び相談内容

10年先の営農状況を考えると、今後**拡大してくる作付面積**を現状の労働力で賄うことは**不可能であることから、早期に法人化に伴う雇用体制の整備に着手する必要**があると考えており、令和3年9月に、現在の経営状況を踏まえて、**どのように経営改善を進めていけばよいのか**と相談があった。

2 支援内容

令和3年は、中小企業診断士による**経営診断**を行い、**経営計画や法人化について助言**を行った。

また、令和4年は、税理士による農園にあてはめた場合の**適正な経営継承のあり方や経営規模の最適化について助言**した。

3 人材の確保・育成に資する取組

★独立・自営就農を目指す者のインターンシップ研修や地元の小中学生を対象とした農業体験会などを通じて、地域農業の担い手の育成・確保に取り組む

■つながる農業を意識し、食育を実施

地元小学校での講義や農業体験、中学生の「トライやる・ウィーク」を積極的に受け入れたり、地元保育園にも食材を提供している。

新鮮で美味しい野菜を子供達に食べてもらうために、地域の伝統作物の「海老芋」の存在を伝え、**収穫体験を実施し、農業の大切さや楽しさを伝えている。**

地域の小学生のなりたい職業アンケートで今までなかった「農業」が入る等、成果を上げている。

■県のインターンシップ事業を活用した人材育成

独立・自営就農を目指す2名を受け入れ、1週間程度の短期研修を実施するほか、平成28年に先進農家で研修した代表者自身の経験をいかして、人材育成に取り組んでいる。

■ひょうご農業MBA塾を受講し、自身の経営力強化へ

周辺農家の農業経営モデルとして牽引役となれる企業的感觉に富む**農業経営体の養成塾(ひょうご農業MBA塾)を1年間受講し、労務管理や財務管理、マーケティングの知識を学び、10年後に向けた経営計画を策定**した。今後、規模拡大や機械化、新たな従業員の雇用も計画している。



地元の小学生に食育教育を行う様子

今後の意気込み

地域の高齢化が進む中、農業を次世代につないでいけるよう、自身の経営基盤を強化するとともに、若い人材の育成にも引き続き力を入れていきたい。

専属スタッフ所感

姫路市兼田の野菜農家の二代目が就農5年目に法人化。ひょうご農業MBA塾を受講、若手農業者組織の会長を務め、農業を次世代につないでいます。